

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (技術分野)	2・東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
取 扱 内 容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「D情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 課題設定のイメージをもたせるための3コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気付かせるため「技術のめがね」を掲載したりするなど、学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ 巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(二次元コード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (家庭分野)	2・東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動ができるようになっている。 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動ができるようになっている。 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く!」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 学習のまとめごとに、生徒が自分の課題に気づくために生徒キャラクターによる課題につながるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に生かすために「生活に生かそう」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色とデザインについて色覚に関する専門家の検閲を受けたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (技術分野)	6・教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
取 扱 内 容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「B生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「D情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 「学習内容への道案内」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 問題解決の流れを学ぶための4コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ 学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (家庭分野)	6・教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動ができるようになっている。 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動ができるようになっている。 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置けるとともに、「生活の課題と実践」において「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう!」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに、学習前後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、図やグラフの色遣いで、色の境界が識別できるように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や計算ソフトを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (技術分野)	9・開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
取 扱 内 容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「B生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 ・「D情報の技術」において、情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 「技術の学習を始める前に」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ 学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	技術・家庭 (家庭分野)	9・開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとっての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動ができるようになっている。 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動ができるようになっている。 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動ができるようになっている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○ 学習のまとめごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示したり、生活の中から考え、実践するために「やってみよう」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような等工夫がされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、デザイン、配色について色彩の専門家による検証を行ったりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他			